

10/5（水）の発表

まさかは必ず
やってくる

報道発表資料の配付日時 10月5日（水）16時00分

発表項目	弾道ミサイル落下時の行動について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>国(内閣官房)では、ミサイル落下時に国民が身を守るためにとるべき行動について、屋外にいる場合や屋内にいる場合など状況に応じた行動パターンを示しておりますので、別添のとおり、お知らせいたします。</p> <p>【内閣官房国民保護ポータルサイト】 ※URL : https://www.kokuminhogo.go.jp/kokuminaction/index.html</p>		
参考	本件につきまして、積極的な報道をお願いいたします。		
報道（取材） に当たって のお願い			
他のクラブ との関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当 (連絡先)	宗谷総合振興局 地域創生部 地域政策課 主幹 菊池 博幸 TEL 0162-33-2914 (内線2151) 防災係長 山本 高 TEL 0162-33-2526 (内線2191)		

弾道ミサイル落下時の行動

弾道ミサイル落下時の行動について



弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動

②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロなどから身を守るために

事前に確認しておきましょう。
http://www.kokuminhogo.go.jp/gaiyou/shiryu/hogo_manual.html

ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧いただけます。



首相官邸
ホームページ
www.kante.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
@Kante_Saigai



Jアラート（例）直ちに避難、直ちに避難、直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが、●時●分頃、●●県周辺に落下するものとみられます。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外にいる場合

近くの建物の中か
地下に避難。

（1）できれば遠くを歩かず、早くに逃げれば、それ以外の避難でも良いです。

建物がない場合

物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。

屋内にいる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。



近くにミサイル落下！

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

弾道ミサイル落下時の行動

落下時の行動に関するQ&A

Jアラートによる情報伝達

Jアラートによる弾道ミサイル情報の伝達に関するQ&A

弾道ミサイル落下時における避難の必要性について

画像をクリックすると別ウィンドウで拡大画像を表示します。

{PDFファイル：670KB}



弾道ミサイルが着弾した場合、
激しい爆風や破片などにより、
身体へ大きな被害を受ける可能性があります。

爆風や破片などから身を守るため、
状況に応じた避難行動をとることが大切です！

屋外にいる場合
【爆風や破片などを避ける】

近くの建物の中（できれば頑丈な建物）
または 地下へ

もしも、近くに建物がない場合は

物陰に身を隠す
または
地面に伏せ
頭部を守る

屋内にいる場合
【爆風で割れた窓ガラスなどを避ける】

窓から離れる
または 窓がない部屋へ

弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合には、
Jアラートを通じて**緊急情報**を流します。
① 屋外スピーカーなどから国民保護サイレンとメッセージが流れます。
② 携帯電話やスマートフォンに緊急速報メールなどが届きます。

[画像をクリックすると別ウィンドウで拡大画像を表示します。](#)

(PDFファイル: 677KB)

弾道ミサイル落下時の行動について (リーフレット: [簡易版](#)、[子ども向け](#))

避難行動の必要性をより深く理解いただくために ([リーフレット](#))

[上記リーフレットの下部に余白を設け、配布者の連絡先等が記載可能としたものはこちら](#)

以下、今までに実施された弾道ミサイルを想定した住民避難訓練における様々な場面での避難行動の例を紹介いたしますので、参考にしてください。

弾道ミサイル落下時に取っていただきたい行動の例 (避難訓練の場面から)

写真資料

[弾道ミサイル落下時にとっていただきたい行動の例 \(避難訓練の場面から\)](#)

動画資料 ※ 外部のウェブサイトに移動します。

[Jアラート概要、避難行動の必要性及び避難行動の原則について](#)

[屋外にいる場合にとるべき避難行動の例 その1 \(東京都文京区訓練\)](#)

[屋外にいる場合にとるべき避難行動の例 その2 \(福岡県福岡市訓練\)](#)

[屋外にいる場合にとるべき避難行動の例 その3 \(愛媛県西条市訓練\)](#)

[近くに建物がない場合にとるべき避難行動の例 \(新潟県燕市訓練\)](#)

[屋内にいる場合にとるべき避難行動の例 \(新潟県燕市訓練\)](#)

また、弾道ミサイル落下時の行動に関して地方公共団体が作成した資料をご紹介します。

[北海道庁が作成したマンガを活用した資料 \(北海道庁のページ\)](#)

[神奈川県庁が作成した動画を活用した資料 \(神奈川県庁のページ\)](#)

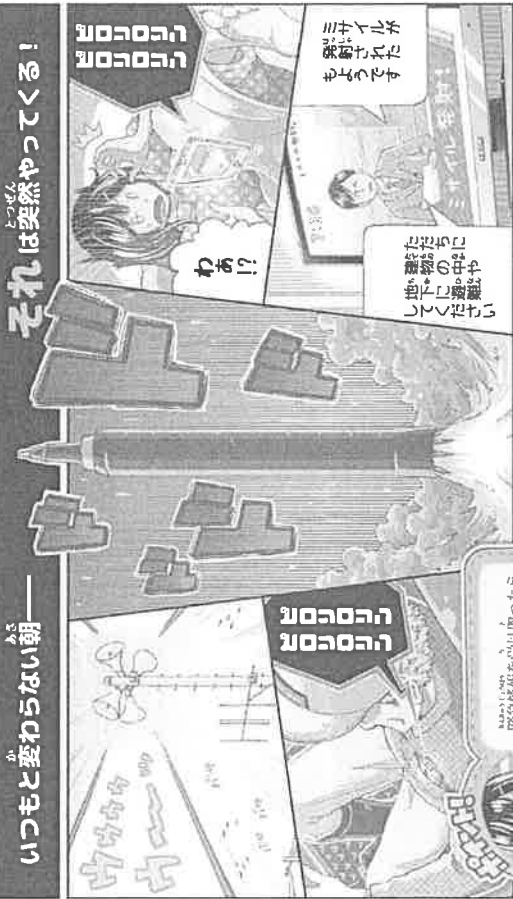
国民保護サイレン音

 [サイレン音の再生ページへ](#)

[北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合における全国即時警報システム \(Jアラート\) による情報伝達について](#)

[弾道ミサイル落下時の行動に関するQ&A](#)

ミサイルが 飛んできたときには



ミサイルが日本に落下する可能性がある場合には、国から緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」が発信され、その後に警報として、自治体や市町村から防災行政無線やカーブアラートレピード、ごまきなどにより緊急情報の流れます。また、携帯電話からも緊急避難メールなどで情報が流れます。



学校の中でミサイルが落下した場合、知らずとも隠れているのは、先生の指示に従い、教室内で避難行動をとります。より安全な場所への移動が可能な場合には、その場所まで移動することになります。

『身を守る行動』は、自分がいる場所によって変わるよ! しっかり覚えて、まわりの人にも伝えてね!

図解は、国土交通省の「ミサイル落下時の対応」を参考に作成しました。

政府の情報



国民保護ポータルサイト
脱カ攻撃やテロなどから身を守るために

事前に確認しておきましょう
http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryu/hogo_manual.html



首相官邸ホームページ
<http://www.kantei.go.jp/>



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
@Kantei_Saigai

ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧いただけます



平成29年10月発行



北海道

総務部 危機対策局 危機対策課 危機調整グループ
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 電話：011-204-5014 (直通)

